

令和7年6月号掲載

男女共同参画社会をつくる ～男女共同参画に関するQ&A～

令和6年度 男女共同参画の視点からの能登半島地震 対応状況調査 報告書

内閣府男女共同参画局総務課

調査の背景・目的

「女性版骨太の方針 2024」では、女性活躍・男女共同参画を推進するための柱の1つとして「個人の尊厳と安心・安全が守られる社会の実現」を掲げ、その中で「男女共同参画の視点に立った防災・復興」にかかる取組の強化を促しています。そこで男女共同参画局は、令和6年能登半島地震において災害対応に当たった被災自治体や応援自治体、民間団体等の平時の備えや発災後の対応、復旧・復興に向けた取組や各種事例等を収集し、今後の災害対応において男女共同参画の視点を更に反映させられるよう課題や取組を整理し、報告書として取りまとめることを目的とした調査を実施しました。

■調査方法

①被災自治体（4県、47市町村）、②応援自治体（※対口支援を行った都道府県及び政令市を含む市町村）、③男女共同参画センター（357センター）、④民間支援団体（NPO、企業、社会福祉協議会等 約200団体）に対するアンケート及びヒアリング調査

※大規模災害発生時に、被災自治体と支援側の自治体がペアを組んで復興を支援する仕組み。

■検討会の設置

「男女共同参画の視点からの防災・災害対応」の分野に精通した有識者や地方公共団体職員から構成される検討会を開催し、アンケート・ヒアリング調査票の内容、ヒアリング調査先の選定、報告書案についての意見交換等を実施

調査結果概要

- 今回の災害対応では、対口支援の枠組みを活用した応援自治体による支援や1.5次・2次避難所等の広域避難が早期に実施された。
- 被災自治体と民間支援団体・専門家・女性防災リーダーなどの多様な主体間の連携による男女共同参画の視点からの取組が展開された。
- 一方、これまでの災害と同様の困難（避難所における女性の負担増等）や新たな課題（広域避難者に関する情報の把握や自治体間の共有、切れ目のない支援の必要性等）も指摘された。

今後の災害対応に向けて

報告書では、調査結果を踏まえて今後の災害対策に男女共同参画の視点をさらに反映し、女性が主体的に参画するための提言をまとめました。また、今回の地震だけでなく、これまでの災害対応で多様な主体が実践してきた男女共同参画の視点から必要な具体策の案や取組事例も数多く盛り込みました。本報告書を多くの方に参照いただき、今後、あらゆる支援関係者による災害対応に男女共同参画の視点がより一層取り入れられることを期待しています。

事例1 (県)

市町に対し、性暴力・DV防止のための 取組を支援

- 1月1日に発出された内閣府男女共同参画局からの通知を受け取り、同日、他課や市町に共有。
- 性暴力・DV防止のための啓発ポスターを作成し、市町村や避難所運営担当者にポスターの掲示や相談カードの掲示・配布を依頼。
- 内閣府男女局の派遣職員による助言を踏まえ、避難所を開設している市町の男女共同参画担当部署を対象に聞き取り調査を実施。
- 対口支援に入った応援自治体からの要望に応じて調達し、防犯ブザーを調達、市町に配布を依頼。



事例4 (県/市)

女性職員が安心・安全に災害対応業務を 行うための取組

宿泊・生活環境の確保に向けて被災自治体との調整

- 女性職員の宿泊スペースとして庁舎内の一室を使用できるよう、被災自治体と調整し、確保。
- 女性職員の夜間会議への参加のしやすさを考慮し、活動拠点近くにキャンピングカーを設置。



宿泊拠点の確保

- 現地のトレーラーハウスや、業界団体との交渉によってキャンピングカーを導入し、宿泊や着替えに利用。

心身の安全確保

- 派遣職員用に防犯ブザーと折り畳み式の着替え用テントを準備。就寝時は鍵のかかる部屋(物置)を寝床として使用。派遣後の特別休暇を導入。



詳細は、こちらをご覧ください。

URL

[https://www.gender.go.jp/research/
kenkyu/notohanto_r7_research.html](https://www.gender.go.jp/research/kenkyu/notohanto_r7_research.html)



令和7年度 男女共同参画週間キャッチフレーズ

●最優秀作品

誰でも、どこでも、自分らしく

●優秀作品

人が育つ、絆が広がる、未来が変わる

●優秀作品

育成しよう 貴重な人材 醸成しよう 共同参画

令和7年度 男女共同参画週間ポスター



柏原市では、男女共同参画週間のつどいとして、自分らしくのびやかにいきいきと暮らせる男女共同参画社会を目指して、「かしわら男女共同参画フォーラム」を開催いたします。

日時 令和7年6月28日(土) 午後1時30分～3時40分(開場1時)

場所 柏原市民文化会館(リビエールホール・小ホール)

定員 先着250名

入場 無料 ※事前予約が必要です。

令和7年度 男女共同参画週間のつどい

かしわら男女共同参画フォーラム

講演会

「女らしく男らしくでなく、自分らしく」

講師 落語家 **露の真氏**

【2008年、女性落語家第1号の露の都に入門。翌年に京都産業大学法学部卒業。ユニセックスな風貌を活かし、男性物の落物で古典落語を演じ、女性には難しいと言われる滑稽、芝居にも果敢に挑む。また、落語のみならず、どじょうすくい踊り(師範)・日本舞踊・鼓・笛なども得意としている。】

オープニング

色とりどりの歌
～希望に満ちた明日のために～

大阪教育大学
コーラスセッション

日時: 令和7年6月28日(土) 午後1時30分～3時40分(開場: 午後1時)
開場: 柏原市民文化会館(リビエールホール・小ホール) ※早申場に限りますので、公共交通機関及び自転車等をご利用ください。
定員: 先着250名 入場無料 ※事前の申し込みが必要です。
その他: 手話通訳有、要約筆記あり、一時保育有(1歳6ヵ月～就学前) ※保育のご予約は、令和7年6月20日までに男女共同参画センターまで
申込方法: 電話・インターネットでのお申込み 6/4～6/25
柏原市立男女共同参画センター ☎072-972-0072 午前9時～午後8時
下記URLまたは、右記QRコードからお申込み下さい。
<https://logoform.jp/form/PvtD/1002385> 
※入力いただいた個人情報、講演会の受付票以外には使用いたしません。また、第三者に個人情報を提供することもございません。

特設相談 当日午後1時～/DV等家庭での問題をはじめとして、悩みを抱えている女性を対象とした特設相談を実施します。柏原市立男女共同参画センターまでお申し込みください。

主催: 柏原市・かしわら男女共同参画フォーラム実行委員会 後援: 柏原市人権協会・東大阪人権擁護委員協議会柏原地区
お問い合わせ: 柏原市立男女共同参画センター ☎072-972-0072

詳細は、柏原市ウェブサイトもしくは、広報かしわら6月号をご覧ください。
是非この機会に足を運んでいただき、みんなと一緒に男女共同参画社会づくりを
考える場になればと考えます。たくさんのご来場お待ちしております。